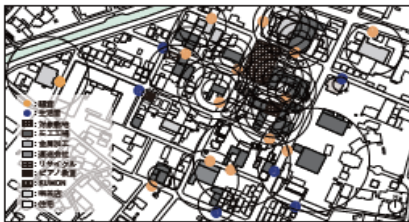
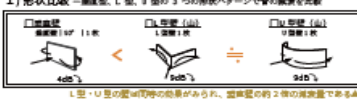
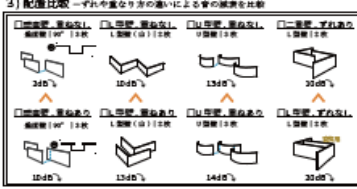
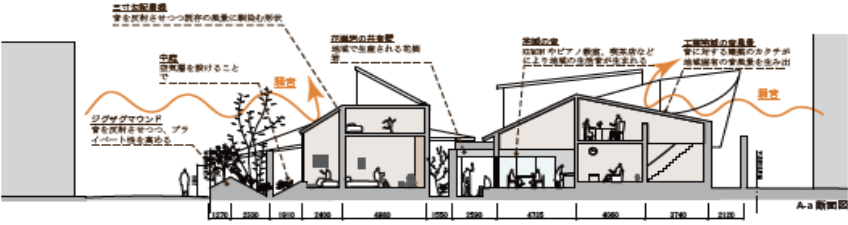


受賞年	2025年																	
受賞タイトル	優秀賞																	
区 分	Ⅱ．生活ディスプレイデザイン																	
フリガナ	スギヤマレナ																	
制作者名	杉山玲那																	
フリガナ	ダイドウダイガクコウガクブケンチュウガッカインテリアデザインセンコウ																	
卒業時の大学 学部・学科	大同大学工学部建築学科インテリアデザイン専攻																	
フリガナ	フナハシナ	職名																
推薦者名	船橋仁奈	大学教授																
フリガナ	ソウオンカラソウオンヘージュウコウコンザイチイキニオケルオトフウケイノテイアン																	
作品名	騒音から奏音へー住工混在地域における音風景の提案ー																	
概 要	1 背景と目的 住工混在地域の在り方 私の実家は岡崎市で工場を営んでいる。私には、騒音と言われる音が「お父さんが頑張っている音」に聞こえ、工場の音が生活の一部となっている。本提案では、岡崎市の住工混在地域が抱える騒音問題に着目し、工場と共にある生活の場を創出する。「騒音」を「奏音」へと変化する音風景を計画し、地域特有の景観を目指す。 2-a 計画対象地 岡崎石工団地 岡崎の石工団地には、今も多くの石工業者が存在するが、金属加工業や運送業、電工業も進出している。近年では、準工業地域への居住誘導も相まって住宅が増加傾向にあるが、いずれの工場も70～80dB程度の騒音を発生させており、騒音問題が顕在化している。  岡崎石工団地 敷地図 S=1/6000▲ 2-b 騒音調査 一般的に音圧レベルが60dB以上の不快音は、騒音と認識される傾向が強い。本計画では、環境基本法に定められた騒音に関する環境基準値50dB以上の騒音を発生させる町工場と生活音を対象に騒音調査を実施した。  石工団地エリアの騒音サンプリング ー解説例1▲ 4-a 防音壁がつくる音風景 石工の生音は騒音として認識されてしまう。地域の音を生活の一部にするため、防音壁が防音効果を持ち、それが地域の風景となるような住宅街を計画。土地の購入者は、この防音壁を手がかりに隣家を建てていく。この壁は家族と地域の社会を繋ぐ公共的要素となり、住工混在地域の音風景を創り出す。  3-a 無響室での回折減衰と距離減衰の実験 実際の音減少や減衰効果などをより具体的に把握できるため、試験体（建築模型 1/100）による騒音実験を96パターンで実施した。 ・場所：名古屋市環境科学調査センター 無響室 ・音圧レベル：点音源（スピーカー）70dB ・音源の周波数：10kHz  試験体による騒音実験結果 ー一部抜粋▼ <table><tr><th>試験体</th><th>音圧レベル (dB)</th><th>音圧レベル (dB)</th><th>音圧レベル (dB)</th><th>音圧レベル (dB)</th></tr><tr><td>U型壁1枚 山</td><td>30dB</td><td>30dB</td><td>30dB</td><td>30dB</td></tr><tr><td>U型壁2枚 山</td><td>30dB</td><td>30dB</td><td>30dB</td><td>30dB</td></tr></table> 3-b 無響室での実験結果 1) 形状比較 ー断面図、L型、U型の3つの形状パターンで音の減衰を比較  2) 数量比較 ー断面図、L型、U型の3つの形状パターンで音の減衰を比較  3) 配置比較 ーいずれや重なり方の違いによる音の減衰を比較  3-c 実験結果についての考察 実験結果から得られる防音効果を有する壁等のデザインパターン  ■：住宅 ■：防音壁 4-b 石工団地のサウンドスケープ ー断面図 S=1/180ー  ▲：断面図 配置図参照			試験体	音圧レベル (dB)	音圧レベル (dB)	音圧レベル (dB)	音圧レベル (dB)	U型壁1枚 山	30dB	30dB	30dB	30dB	U型壁2枚 山	30dB	30dB	30dB	30dB
試験体	音圧レベル (dB)	音圧レベル (dB)	音圧レベル (dB)	音圧レベル (dB)														
U型壁1枚 山	30dB	30dB	30dB	30dB														
U型壁2枚 山	30dB	30dB	30dB	30dB														

